



愛腎協 かわらばん

患者の、患者による、患者のための愛腎協

第145号 編集：(一社)愛知県腎臓病協議会事務局 発行：平成29年9月8日

第24回腎不全キャンペーン講演会が開催されました

平成29年8月20日⑩午前10時から今池ガスビルホールにて「第24回腎不全キャンペーン講演会」が開催されました。参加者は約400名で満席でした。

開会の挨拶を前田憲志先生(大幸砂田橋クリニック院長)、来賓挨拶を馬場亨氏(全腎協会長)、奥村清高(愛腎協会長)が行ったあと、中井滋先生(藤田保健衛生大学教授)の司会で5つの講演がおこなわれました。(午後1時5分終了)

■講演／

講演1：「イントロダクション」講師／前田憲志先生(大幸砂田橋クリニック院長)

講演2：「患者様の取り組み」体験談／庄田時康さん(大幸砂田橋クリニック患者)
山本宜只さん(大幸砂田橋クリニック患者)

講演3：「腎臓リハビリで寿命を延ばす！腎疾患への運動療法の効果と実際」

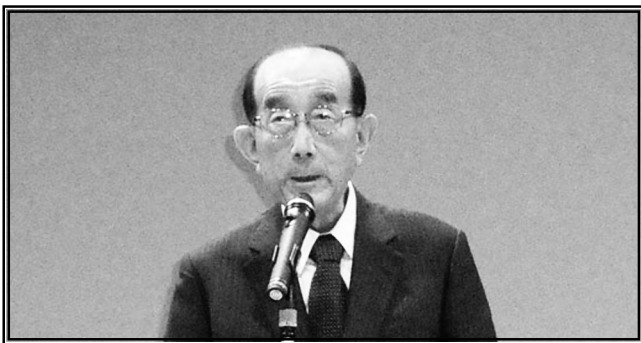
講師／伊藤修先生(東北医科薬科大学医学部リハビリテーション学教授)

講演4：「治療食を美味しく楽しく食べるレシピ」

講師／中東真紀先生(鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療栄養学科准教授)

講演5：「わが国の透析療法の現況と透析患者の癌」

講師／中井滋先生(藤田保健衛生大学医療科学部臨床工学科教授)



挨拶をする前田憲志先生



挨拶をする馬場全腎協会長



挨拶をする奥村愛腎協会長



講演をする伊藤先生

■内容抜粋／

慢性腎臓病の保存期の庄田時康さんと山本宜只さんの体験談では、食事療法と運動療法を適切に行うことで透析導入にいたらずに頑張っているとの発表でした。

伊藤先生のお話では、以前は、CKD（慢性腎臓病）は運動をしないほうが良いから、最近の調査から現在は、運動を適切にしたほうが良いに変わってきていると報告があり、運動療法を取り入れている心臓疾患患者の腎機能データから腎臓病患者も有酸素運動とレジスタンス運動（筋肉トレーニング）を適切に行ったほうが生命予後には良いとの結果がでている。透析患者においても、非透析日に運動を行っている人がなにもしていない人より生命予後が良いことは明らかであると報告された。

糖尿病患者のリハビリには診療報酬がでているが、透析患者のリハビリにも診療報酬がでるように厚労省に声をかけているそうです。（平成32年成立を目指して）

豊橋市腎友会主催の第4回市民公開講座が開催

平成29年8月20日㊦の10時から豊橋市保健所講堂で「第4回市民公開講座」が開催されました。糖尿病から慢性腎臓病しいては透析導入にならないための健康管理、運動療法、栄養指導を目的とした行政（豊橋市）の協力で始まったこの講座は、今回4回目になりました。入場者数は約130名と大変盛況でした。

■講演内容／

第1部「糖尿病と腎臓病を防ぐ生活と食事」

講師：吉田篤博先生（名古屋市立大学病院医師）

第2部「糖尿病から腎臓を守る優しい食事」

講師：鈴木富夫先生（名古屋文理大学健康生活学部健康栄養学科准教授）

第3部「あなたの足は大丈夫？足のトラブルを防いで元気に歩こう」

講師：加納智美先生（日本フットケア学会理事）

その他の活動

☆8月度業務執行部会議：平成29年8月8日㊦

☆全腎協青年部研修会：平成29年8月26日㊥・27日㊦

☆知多支部会議：平成29年8月27日㊦

今後の予定

◎9月3日㊦午前：第3回移植セミナー会議（名古屋市政資料館）

◎9月3日㊦午後：第3回青年部会議（名古屋市政資料館）

◎9月9日㊥、10日㊦：第84回東海ブロック会議（ホテルプラザ勝川）

◎9月12日㊦：9月度業務執行部会議

◎9月17日㊦：移植セミナー（ウインク愛知11階、1101会議室）

◎9月24日㊦：第1回女性セミナー（ウィルあいち3階 会議室5）

◎9月26日㊦：市民健康教育講座（碧南市役所2F会議室、碧南市腎友会共催）

◎10月1日㊦：第37回臓器移植普及啓発街頭キャンペーン

（名古屋駅ナナちゃん人形前）、9・10月愛知県下随時開催